

平成26年度 事業計画書

一般財団法人 地球システム総合研究所

地球システム総合研究所が研究の主分野とする地球システム科学・工学は、地球の環境を守り資源を有効に利用して人類の持続的発展を達成させるために必要不可欠な学問分野であり、関連科学技術の発展・普及は各方面から強く要請されている。そこには喫緊に解決せねばならない課題も多い。

当研究所は、地球システム科学・工学関連科学技術のうち、特に、資源・エネルギー開発、社会基盤整備、地下水、防災、環境保全などの分野に重点をおき、公益事業としての「継続事業」の「自主研究事業」や「研究会・講習会等の開催事業」、並びに委託者の抱えるテーマの研究や課題の解決を図る収益事業である「その他事業」について取り組んでいる。これら「継続事業」「その他事業」における研究や調査活動、その成果の発表や広報、技術指導、講習等を、過去10年間以上に亘り積極的に実施し、多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に寄与するとともに多くの課題の解決をはかり、学術的な貢献を果たしてきた。

平成26年度も「継続事業」と「その他事業」について、次の内容を進めていく。

「継続事業」の「自主研究事業」や「研究会・講習会等の開催事業」について：当研究所独自の課題について研究開発を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究に加え、研究開発と研究成果の実際への有効利用を速やかに推進するために、広報・普及および技術者・研究者育成のために、研究会、講演会、セミナー等を開催する研究会・講演会等開催事業を活発に行う。平成26年度に企画されている国際ワークショップや国際セミナー等の主催・共催及び運営なども行う。

「その他事業」について：学会や産業界からの要請に応じて、関連科学技術に関する課題の研究開発及び技術開発並びに学術調査及び研究技術指導を行う研究等受託事業も積極的に推進していく。とりわけ既存の各部門研究会の研究・調査活動を更に活発に推進させて、調査・研究等の受託収入の増加を促進する。この事業を通じて我が国の関連科学技術の発展に寄与する。

当研究所の運営に関しては、公益法人制度改革関連三法で規定された一般財団法人としての運営を行うため、定例理事会を2回、定例評議員会を6月に開催して当研究所の適切な運営を行う。

また、ホームページ (<http://www.geosystem-research.com/>) を更に充実させ、当研究所の活動状況及び成果の周知及び普及を進める。

以上